

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	都市景観課長	芳本 俊雄
まち-09 都市景観形成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 都市景観課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	都市景観	施策の方針	良好な都市景観形成事業の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。
効果	古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。 ・景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。 ・鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	7,334	決算値(千円)	3,347	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	2,307	その他	3,471	
	一般財源	5,027	一般財源	-124	
	人員配置数	6.1	人員配置数	6.5	
事業経費運営	人件費(千円)	47,142	人件費(千円)	48,273	
	総事業費(千円)	54,476	総事業費(千円)	51,620	
	市民1人当りの経費(円)	307	市民1人当りの経費(円)	291	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若宮大路景観協議会設立の課題解決のための検討。 ・違反屋外広告物、未申請広告物への対応。 	
課題解決のために行った平成26年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく景観計画、景観地区等の運用により、良好な景観の形成を着実に推進した。 ・景観重要公共施設連絡調整会議を開催した。 ・県下一斉違反屋外広告物除却キャンペーンに加え、警察署と連携し、定期的に除却キャンペーンを実施した。 ・親子景観セミナーや中学校への出前講座など、普及啓発事業を実施した。 	
未解決の課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年1月に景観計画策定後10年を迎えることから、検証、評価を行う必要がある。 ・引き続き違反屋外広告物、未申請広告物の対応を行う。 ・屋外広告物の適正な規制・誘導策を検討する。 	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 景観形成推進委員、違反屋外広告物除却協力員、景観整備機構
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 景観に対する高い市民要望に応えるためには、屋外広告物の市独自条例の策定とこれに伴う違反対応の強化などが望まれる。そのためにはそれに対応する人員の確保などが必要となるが、他の事業予算との調整が必要である。
総評	景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を着実に推進している。また、屋外広告物の適正な規制・誘導策の検討、普及啓発を行うなど、古都としての風格ある都市景観形成を推進している。今後においても、鎌倉らしい都市景観の創出のため、制度の運用、新たな制度の設計に取り組む必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	景観地区の指定面積・地区数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	232.0ha	63.1ha	0	0	0	0	0	0	0
	2地区	2地区	0	0	0	0	0	0	0
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	景観地区とは、建築物の形態意匠の制限のほか、建築物の最高限度、敷地面積の最低限度等について都市計画決定するものであり、全国で20市町、36地区が指定されている。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--